



条幅規定

成家 江川 悦子

単調になりがちな線に抑揚をきかせ、リズムよく字間も均一で明るさもあり、安定した自然な筆運びに腕の確かさを感じる。や、落款が下がりすぎか。雅印も二顆ほしいところ。

条幅随意

準師範 森 小筑

日頃の大胆な筆致と自由な発想を今回は封印し、漢字作品のように一行に収めた新しい挑戦。日頃の魅力と異なり、その努力は肯う。毎月の試行錯誤が書道展作品に生きてくる。

条幅随意(臨書)

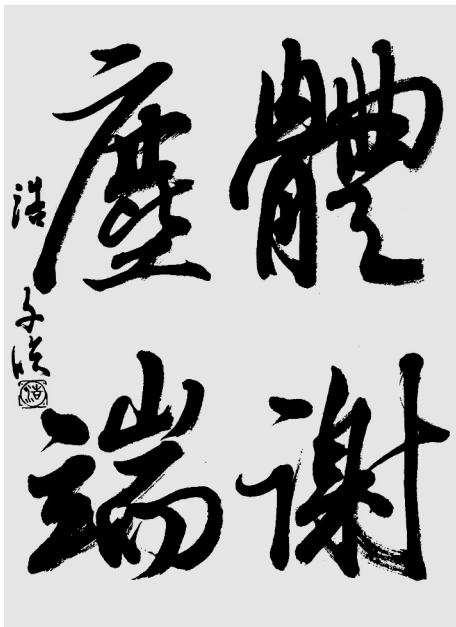
師範正 村内 緯子

古典の細部にまで気を配り、スピードの変化や筆圧の変化を加味し、俯仰の用筆が十分發揮された力作。難しい臨書ではあるが、手慣れた安定感のある作品。さらなる精進に期待。

半折½横

師範正 権藤 陽子

隸法を活かし、大胆な用筆で、潤筆・渴筆・破筆・細線をうまく融合させた、現代性豊かな作品。この作品づくりで、今年は挑戦してみてはいかがか。目標をみつけ一歩前進しよう。



半紙規定

師範正 野中 静波

全体の文字バランスもとれて潤渴の線の変化が動きと立体感を醸し出し、現代性豊かな解放感のある篆書となった。遅速の変化の研究を。

半紙随意

準師範 鎌田 敬子

「冬華」の横画、縦画の線が伸びやかに変化し、躍動感のある書作は佳。たゞ下部の細字に線の変化が乏しいのが残念。更なる研究を。

半紙随意(臨書)

成家 阪井 浩子

原帖を真摯に捉え、習熟された表現が窺えて好ましい作。もっと落筆・抑揚・緩急の変化が加味されれば佳。己に自信を持って前進を。

風花の  
まう街  
向日葵

白鳥  
四年 徳丸 仁菜

かき  
ぜた  
あゆな

輝  
ける  
未来  
二年 小嶋 凜々子

将来  
の夢  
袖月

白鳥  
四年 家村 舞音

立冬  
まい

未来  
のどか

輝ける  
未来  
悠衣

信念  
莉乃

立冬  
三年 卓弥

未来  
のどか

学生部条幅 (1/4)

中二 準特待生 小嶋凜々子  
漢字と平仮名のバランスが良く行書の流れが自然で伸びやかに書けています。頂上まであと一歩です。勉強との両立を頑張ってください！

岩川あゆな 尾田 舞

小二 5級  
一字一字お手本をよく見てのびやかに書けています。このまじゅうで一まいでも多くれんしゅうをがんばってくださいね。

徳丸 仁菜 家村 舞音

小四 五段  
さすが上位有段者の作品です。『白と鳥』のバランス・名前がとっても良くできています。今後さらに期待してきます。

谷口向日葵 工藤 袖月

小六 準六段  
とても難しい課題でしたが、漢字と平仮名のバランスの良い明るい作品です。この調子で中学生になっても頑張ってください！

坂本のどか 小一 準7級

ほんしいっぱいのどかさんのげんきがあふれたりつばなさくひんです。おしゅうじのたのしさがさくひんからつたわります

神田 卓弥

小三 準初段  
むずかしい課題でしたが、伸びやかな線で力強く書けましたね。これからますます楽しみです。練習、がんばってください。

江口 莉乃

小五 準三段  
気のこもった強い線で、一画一画しっかりと書けています。日頃の練習の成果だと思えます。さらに上の段を目指しましょう。

原田口悠衣

中二三準特待生  
行書の流れを自分のものとし、明るく作品をまとめた点は、さすが準特待生です！勉強との両立をがんばって、続けて下さいね。

# 硬筆部最優秀作品

(12月28日締切分)

(坂元紫香先生評)

段級  
氏名  
エルフをしか  
つていながら、  
みんなは、エルフ  
が、大スキだった。  
むらさきみなみ

段級  
氏名  
おじいさんはすっかり  
元気になり、おばあさん  
と二人なかよく幸  
せに長生きしました。  
彌吉優芽

段級  
氏名  
漢詩は、中国の詩でもともと  
は漢字だけで書かれたもので  
す。わたしたちの祖先は、古く  
から中国と交流し、漢詩などの  
文化にも親しんできました。  
松尾かおる

段級  
氏名  
ゼブラは家に帰ると机の上に大き  
な画用紙を置き、それを左手で押  
さえながら、風景を描いた。山と谷  
と川と台地。不思議なことに、なぜ  
かそれは人の顔のように見えた。  
山口孝之助

段級  
氏名  
歌を作るのがす  
きな すみれちゃ  
んが、また一つ、  
歌を作りました。  
高はし 知キ

段級  
氏名  
太陽の光が夏に向かって  
強くなり、大きな葉のプラ  
タナスの木の下がとても  
よい日かげになるのです。  
徳永亮太

段級  
氏名  
方言を使うかどうか、漢語和語  
外来語のとれにするかなども、相  
手や場面によって考える必要が  
あります。それぞれの持ちようを  
考え適切な表現を選びましょう。  
江崎果音

段級  
氏名  
手書き文化は、それが、筆賀状も専  
らデジタル機械が代行する。それゆえ  
肉筆を見直す空気が生まれて、あ  
ら、筆納めも、今日あたり、遅い宛  
名書きに、その方もおられよう。  
岡 真利子

段級  
氏名  
おじいさんは、すっかり  
元気になり、おばあさん  
と二人なかよく、幸  
せに長生きしました。  
藤原沙衣

段級  
氏名  
太陽の光が夏に向かって  
強くなり、大きな葉のプラ  
タナスの木の下がとても  
よい日かげになるのです。  
寺田和歌菜

段級  
氏名  
ゼブラは家に帰ると机の上に大き  
な画用紙を置き、それを左手で押  
さえながら、風景を描いた。山と谷  
と川と台地。不思議なことに、なぜ  
かそれは人の顔のように見えた。  
中根希紗

書譜  
寒冷の頃、遠藤の、お喜び、おげます。  
引、越す、まの、任事、の都合、お、大分、集  
上野、さん、には、引、越、す、当初、から、大、分、お、世話、に  
なり、厚、く、感謝、申、上、げ、ま、す。子、供、同、じ、の、仲、が  
良、わ、つ、た、こ、も、あ、り、と、も、残、念、で、す。  
引、越、す、先、の、任、所、は、先、に、記、し、あ、り、ま、す。  
旅、行、の、際、は、お、ま、ち、寄、り、く、だ、さ、い。  
近、日、中、に、改、め、て、後、援、に、伺、た、と、思、う、と、ま、す。  
遠、陽

村崎みなみ 小一 7級  
一じかたちよく、ていねいにかけています。カタカナとかんじもバランスがよく、しつかりとれんしゅうのできた作品です。

高橋 知暉 小二 7級  
ペンをしようずにつかって、一字一字をいっしようにけんめいに書いています。おけいこの楽しさが作品から伝わってきます!

藤原 沙衣 小三 準3級  
生き生きとした伸びやかな線です。元氣よく書いています。名前までしつかりと練習ができていて、これからますます楽しみです。

彌吉 優芽 小三 準8級  
気のもつた強い線で、本文から名前までバランスよく書いています。これからは楽しみな新人です!期待しています。

徳永 亮太 小四 三段  
ペンをしようずに使い、書き始めから名前まで集中力をさらにさし、しつかりと書けた見事な作品です。さすが有段者ですね。

寺田和歌菜 小四 1級  
お手本をよく見て、丁寧なペン運びできれいに書けましたね。この調子で、さらに上の段を目指してこれからがんばってね。

松尾かおる 小五 準五段  
明るくすっきりとした伸びやかな線がとても魅力的な作品です。横画の右上がり、力をつけているとさらに良くなると思います。

江崎 果音 小六 準五段  
気のもつた強い線で一字一字形良く、丁寧に書いています。日頃の練習の成果だと思えます。継続は力なり、頑張ってください。

中根 希紗 中学 特待生  
大人顔負けのペン捌きが見事です。完成度が高くさすが、特待生の作品ですね。一般部への挑戦も大歓迎です!期待しています。

山口孝之助 中学 準特待生  
お手本をよく観て、明るくすっきりと作品をまとめた点に力量の高さを感じます。頂上まであと一歩です。頑張ってください!

岡 真利子 一般 師範正  
さすが、師範正の作品。安定感があり、無理のない自然なペン捌きは長年の積み重ねの賜。「ローマは一日にして成らず」ですね。

樋口 凌陽 一般 師範正  
自己のリズムで伸びやかに書かれています。好感が持てます。画数の多い漢字を少し小さく書くと思えます。